



UP-LE

Vol.36

2001年3月15日

学校法人コア学園
 飯田コンピュータ専門学校
 〒395-0823 長野県飯田市松尾明7591
 ☎0265-22-5111・FAX.0265-22-5100
 URL●http://www.iidanet.or.jp/ica
 E-mail●ica@iidanet.or.jp

水 温 む — 旅立ちの朝 —



飯田測候所の歴史始まって以来という大雪に震えた一月、その後遺症に泣かされた二月と、IT革命の時代とされる新世紀二十一世紀は、一方で自然の力の大きさを実感させられながら波乱のスタートを切った。
 その異常気象とも云える厳冬を過ぎて、何時しか季節は既に三月も半ば。「三寒四温」を繰り返して、水温む穏やかな「春」をすぐ隣にしている。
 今日から身を投じる新しい世界。春の日のような平穏な社会であって欲しい。

南向きの大きな窓

雨の日には雨の中を……

学校長 植原英勝

若い学生諸君には馴染みが薄いのかも知れないが、在家の仏教者で、詩人であり、大変ユニークな温かみのある独特の書体で有名な、書家の相田みつをのファンは多い。

既に故人で、今日では残された作品を鑑賞するのみであるが、同氏のご息子が館長を務める東京銀座数寄屋橋の「相田みつを美術館」には、来館者が絶えることが無いらしい。

恥ずかしいことに、私が同氏とその作品を知ったのはごく最近のことで、五年程前であったと思うが、何気なく耳を傾けていた早朝のラジオ番組にご息館のことが語ってたのを聞いたところからだから、随分新しいファンの一人ではある。

一度訪ねてみたいと思っていたところ、やがて二年になると思うが、プライベートで上京する機会に足を運んでみた。予想どおり落ち着いた雰囲気的美術館で、一つひとつの作品の前でゆっくり思考を巡らしながら、飽かず立ち止まっていたい気分をさせて貰うことが出来た。

その後、再び訪れるチャンスには恵まれないが、記念に購入して帰った作品集を時々開いて

「雨の日には、雨を、そのまま全面的に受け入れて、雨の中を雨と共に生きる。風の日には、風の中を、風といっしょに生きてゆく、という意味です。」

つまり、特別なことではない、ごくあたりまえの生き方のことです。あたりまえだけど、これは、常に前向きで、積極的に生きるということなんです。

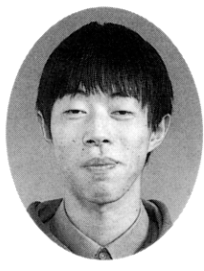
そして、この場合の、雨や風は、次から次へと起きてくる人間の悩みや迷いのことです。

この「あたりまえの生き方」が出来れば、やがて、「生きていてよかった」（やはり、同氏の作品集）という充実と幸いを迎えることが出来るのであろう。肩肘張らず、自然体で、且つ前向きに生きて行きたいものである。



有馬浩太郎

2年間この学校にお世話していただき... 人数が少なく、その分友達や先生と親しくなれたり、授業についてもだらけた部分もありましたが、励みになりました。



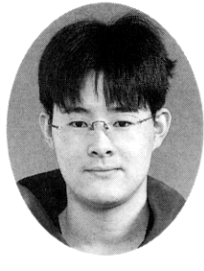
幾嶋市郎

入学した時、学校で自分一台つ貸し出されると聞き、初めてのパソコンを手にして専門学生の実感が持てました。

初めての授業をしたときには、何だかどうすればいいのか分からなくなったり、困り果てる毎日が続きました。パソコンの前に向き合っている時間も次第に長くなり、情報収集にインターネット、コミュニティケーションでメールもだんだん送る回数も増え友達とも情報交換が出来るようになりました。

よって数多くの体験・経験が出来たことは今までのことでした。就職先の仕事にもこのような体験したことのないことが多く起こると思いますが、体験したことは経験を生かした応対を、未経験なら体験できる喜びを感じています。

今日まで道のりは長かったと思いますが、就職先にお世話になることとなりましたが、数少ない経験ですが生かした行動をしたしたいと思います。



木下涼一

二年間の学校生活は、とても早く過ぎた気がします。一年の頃は始めたばかりのパソコンの操作に苦労しました。でも、慣れてきてパソコンをうまく操作できると、楽しくなって良かったと思えました。授業中は、割と静かに受けられたと思います。

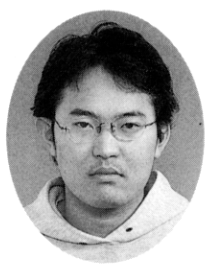
これは親の元で働いて、仕事を覚えるようになりそうなので、そのまま進むか、ほかの道を探るか、良く考えていきたいと思っています。



熊谷定幸

友達も出来て、楽しく過ごせて良かったと思います。学校に世話になったわけですが、良かったことは、僕は中学の頃に授業でパソコンをちょっとだけ使ったことがあるだけで、全くの無知のままで入学しました。

この二年間は、コンピュータに入学したことは、僕は中学の頃に授業でパソコンをちょっとだけ使ったことがあるだけで、全くの無知のままで入学しました。インターネットもeメールも初めてで、初めて出来た時は嬉しかったです。



小林永欣

卒業にあたってこの二年間を振り返ると、いろんなことがあったな?と思っています。一年のときのことに大変でした。

とはよく覚えていませんが、なんか善光寺に行ったような気がします。あの時は楽しかったと思います。あと一年の時の思い出いろいろ、う?んもう思いつかないです。

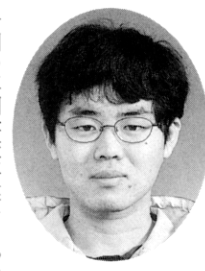
二年のときは、安曇野に行ったりはよかったと思います。特に、チャリで行ったあの店はよかったです。ガラス類がいっぱいあって見ていて楽しくなりました。とてもよかったです。



小林祐二

高校を卒業し、「これからはコンピュータの時代だな」と思い、このコンピュータ専門学校に入学しました。はじめの頃は素人同然の自分がこどうまくやっていたかがとても不安でした。

基礎からゆっくりと教えてくれました。勉強面ではいろいろ大変な事も多かったけど、楽しくやれました。それは友達と一緒にやれたことが大きかったです。



清水宙志

今回の専門学校卒業をもって、長かった学生生活がいよいよ終了になりました。

この二年間を振り返ってみれば、長かったような、短かったようなそんな気がします。この二年間は、学校はもちろん家でパソコンに触れる機会も取れたり、バイトをしたりと色々忙しく十分に充実していたと思います。



関口美保

これは、社会人として今までの責任が大きくなると思いますが、この学校で学んだ色々なことを糧に、一生懸命頑張りたいと思っています。



西野公章

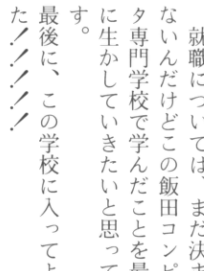
学生という時間も終わり、いよいよこれから社会人として社会へ出ていかななくてはなりません。社会人になるにあたり、いろいろな面で気を配らなくてはなりません。責任感だと思います。これから仕事をしていく上でどんな事に対して責任感というものを常に持つて望むことが最も必要とされると思います。責任感というものを、持っているその仕事にはつきまがつき、やる気も出てきて前向きな姿勢で取り組めるので、僕自身、これから会社で働いていくのでこうした気構えを本常に常に念に入れながら頑張りたいです。あともう一つは時

今!羽ばたく時

卒業にあたって

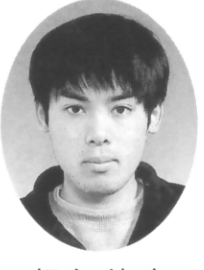
ラス長としてやってきました。その中で、一番思い出に残っていることは『卒業式の時に読んだ送辞』です。手足が震え、まともに読めなくてスゴク恥ずかしかった。あとは、この学校で、出会った仲間達には、感謝します。色々助けてもらったし相談にのってもらえました。

就職については、まだ決まっていなくてもいいからこの飯田コンピュータ専門学校で学んだことを最大限に生かしていきたいと思っています。



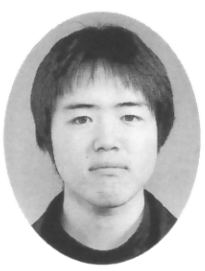
横井麻希子

平成十一年四月、飯田コンピュータ専門学校に入学しました。二年間の学校生活が始まりました。入学当初からコンピュータには詳しい方ではなかった。入学した時、一番大きな不安は授業内容についていけるかどうか。自分では難しいと感じる時の方が多かったと思う。いろいろな考えの内に、あつというまに一年間が過ぎ、二年生になり、新入生が入学した。入学したの頃は、二年間はとて長いと思っていたけど、あつという間の時間が過ぎた。課題やプリントの提出などが遅れてしまつて先生方にはいろいろ迷惑をおかけしました。二年間の学生生活ももうすぐ終り社会へと出ます。社会へでも今以上に頑張っていきたいと思っています。



福与靖彦

一つは自分が、やりたい分野があつてこの学校に入学しました。自分の習いたい分野は、マルチメディアでした。授業は、DTP以外に動画などを習いました。今まで、見たことのない、感じたことのない、新鮮な世界を感じることもできました。



福與雅之

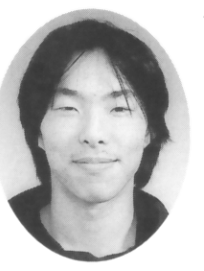
この二年間、自分にとって本当に充実したものでした。今までウィンドウズマシンに触れる機会が無く、マックしか触っていなかった自分には新たな発見であり、進歩だったと思います。

今後は、自分の能力を生かすための派遣という職業につき事になると思われますが、社会で自分が学んだ事がどの程度役に立つのかなど、不安は尽きません。今後は、いかにそれを克服できるかを課題



藤本智樹

卒業にあたって、二年間がとも早く感じました。僕は二年間く



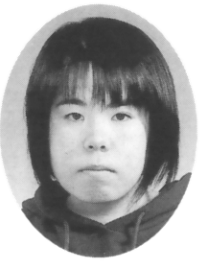
野口淳

入ったときにはもっと難しいことやると思ってた。最後卒研はよくわからなかった。授業が基本的にテキスト重視なので、もっとほかのこともやってほしい(すい!!)かった。



野村千絵

この2年間は、とても楽しくて良かったと思います。勉強はしっかり出来た、とは言いきれないけれど、ホームページが作れたりキーボードをはやく打つことができるようになって、入学する前には目標が達成できたのですごく嬉し



原朋美

この学校での二年間は長いけれど、短い二年でした。入学する以前は、

協賛会総会・記念講演会

飯田コンピュータ専門学校協賛会（会長・中島成人飯田商工会議所会頭）の平成十二年度総会は、平成十二年六月十六日開催された。

当日は、事業計画等の審議に引き続き恒例の「記念講演」が行われ、「無限の可能性を求めて—CGアート—の世界—」と題して、安曇野は穂高町にアトリエ美術館「ピンサンチ」をオープンさせている北山敏氏の講演会が催された。

タグラフィックスのバイオニアとして名高い芸術家で、奥さんの早苗氏とともに安曇野に工房を持ち、山麓の静けさと豊かな自然の中に作品のモチーフを求めて独特のデジタル・アートに仕上げ、全く新しい芸術の世界を切り開いている作家である。

北山氏の手がけた幾つもの作品が紹介され、更にはこうした新しい芸術に共に取り組むエン



지니어の方々とのパネル討議もあって、ユニークな講演会となった。

最先端技術とアートを体験

新入生歓迎一日研修

新入生を歓迎し全校で交流を深めながら、コンピュータやネットワーク、マルチメディアの世界に触れ、学習・研究活動のき

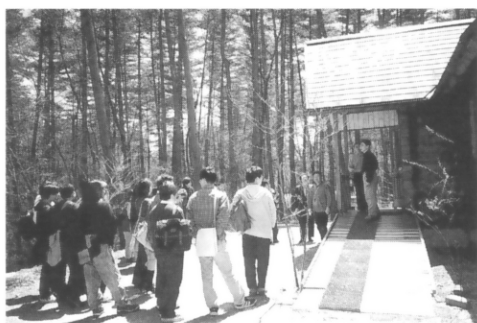
かけづくりにとの主旨で毎年行っている「一日研修」が、平成十二年四月二十八日（金）に実施された。

今年度は、塩尻、穂高方面への研修旅行で、セイコーエプソンの「システムプラザ」とアトリエ美術館「ピンサンチ」が目的地。

セイコーエプソン塩尻工場に設置されているショールーム「システムプラザ」では、パソコンやプリンターなどの最新の各種機器に触れながら、同社が

新たに開発している「ピエゾグラフ」の技術についてその状況や方向性について学んだ。また、穂高町のアトリエ美術館「ピンサンチ」では、デザイナーの北山敏さん夫妻が制作活動を続けているコンピュータグラフィックス、デジタルアートを通じて、新しい芸術の世界を体験した。

この研修は、当校の研究室を拠点として昨年から県内外にマルチメディアコンテンツ制作事業を展開している有限会社PGLabo（本社・大阪堺市、丘本孝志社長）の紹介、コーディネートで実現した。



雇用・能力開発機構「OA事務科」「コンピュータビジネス科」修了

雇用・能力開発機構長野センターから業務委託を受けて実施して来た「雇用能力開発訓練」であるが、「OA事務科」は平成十二年七月十四日開講し十月十三日修了、「コンピュータビジネス科」は十二月十五日開講、この平成十三年三月十五日に修了式を迎える。

いずれのコースも、労働省（現厚生労働省）緊急経済対策「雇用活性化プラン」の流れを汲む事業で、スキルアップにより再就職の途を切り開いて貰うための講座である。

三ヶ月間、毎日六時間で計三二四時間の講義・実習で、ワープロや表計算、簿記（OA事務）、データベース（コンピュータビジネス）などの情報処理活用能力、専門分野の知識・技術を学習するもの。

受講生は女性が多く、二十代から五十代まで幅広い受講生で、和気あいあいの中にも厳しい学習、訓練に真摯に取り組む姿が見られた。

最先端技術を身近にすると共に、恵まれた自然環境と見事に調和したニューアートに接する貴重な体験の一日であった。

OA事務科を終えた修了生は既に全員が就職をされていると

シルバークPC講座も大盛況

飯田市（福祉課）より受託している「シルバー講座」は本年度も大盛況で、年間計画による三講座の他に、インターネット講座や自主グループ講座と、活発に行われて来た。

募集開始後、数日の内には定員に達するという状況で、高齢の皆さんの関心の高さ、積極性が現れていた。毎回の講座でも非常に熱心で、

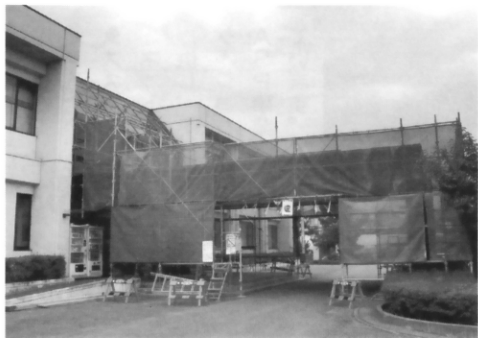


いうことであり、また、ここにコンピュータビジネス科を修了する方々も、近くそれぞれ希望する職場を得て活躍されるであろうことが期待される。

なお、学校では新年度は、従来より1コース増え、全部で3コースの訓練の委託を受け実施することが決まっており、既に4月からの講座の募集が始まっている。（募集は公共職業安定所が担当）

校舎改修

堅牢な鉄筋コンクリート造りの校舎も、十五年も経過すると随所に小さな破損や汚れも目立ち、更には最近では、特に複雑な造りの玄関先に雨漏りも見られたことから、昨年(平成十二年)の夏、開校以来初めての比較的大がかりな改修工事が実施された。

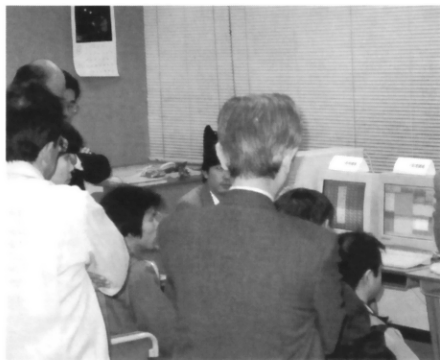


り当面、雨漏りなどの不快から開放されることが出来るようになった。

「ネットワークセンター」を目指し

インターネット接続サービスの「飯田ネット」事業やアプリケーションシステム開発、その他地域の情報化を支援する業務を担当する地域情報化研究所は、そうした機能や役割をより充実、発展させるべく「ネットワークセンター構想」を推進している。

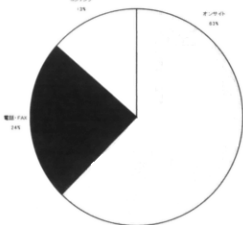
昨年十月のインターネットフェアをはじめ、各種のIT講演会、講習会の開催や、情報化研究会への参画などを通じて、益々格差の拡大が懸念される地方の情報通信インフラのあり方を考え、その整備方策、利活用による地域活性化



「事業総括」

ITSセンター
昨年年度に引き続き一年間対応して来た飯田市の小中学校情報化支援業務(教育用コンピュータ職員指導事業)も、多くの実績とともに終えようとしている。市内二十五校の先生方からの数々の要請に、オンサイトで(教室に出かけて)、または電話やメールでの問い合わせに、更には各種研修会でも対応して来た。(サポート件数一覧・グラフ参照)

年度	オンサイト	電話/FAX	コンテンツ	TOTAL
2001年2月	24件	16件	8件	48件
2001年1月	24件	16件	8件	48件
2000年12月	42件	28件	14件	84件
2000年11月	44件	30件	15件	89件
2000年10月	55件	37件	19件	111件
2000年9月	44件	30件	15件	89件
2000年8月	44件	30件	15件	89件
2000年7月	45件	31件	16件	92件
2000年6月	50件	35件	18件	103件
2000年5月	51件	36件	19件	106件
2000年4月	44件	30件	15件	89件
2000年3月	32件	21件	11件	64件
2000年2月	32件	21件	11件	64件
2000年1月	32件	21件	11件	64件
1999年12月	32件	21件	11件	64件
1999年11月	32件	21件	11件	64件
1999年10月	32件	21件	11件	64件
TOTAL	545件	378件	179件	1102件



「ふれ合いサロン」

校舎正面玄関を入った左側の「ふれ合いサロン」、オープン二年目である。身体に障害を有する方々の利用に供し、パソコンの知識と技術を身につけて貰って、将来はパソコンを利用したシステム開発業務やコンテンツ制作事業、データ入力作業などで社会参加を目指す事業だ。平日九時から十六時迄開館。利用登録者はパソコンや各種周辺機器の操作方法、アプリケーションソフトの利用技法等を、

メディア振興協会「視察研修」

当校が事務局となる飯伊地域メディア振興協会(萩本範文理事長)の恒例の視察研修は、この平成十三年二月十五日(木)、目的地を名古屋方面として、多数の会員の参加を得て実施された。

当日の視察先は次のとおりで、「最新の技術と古代文明に触れる」との大変ユニークな企画の元を意識ある研修が行われた。
■名古屋情報センター(NHKビルNTT西日本ITショールーム)
名古屋情報センターの概要と、平成十年に事業開始したインターネットショップモールの概

視覚障害者 パソコン習う

クラブPC 飯田が指導
文字データを音声に変換

5日から
美博

地元新聞で紹介される「ふれ合いサロン」の活動

要、運用状況等について
△センター筆頭株主であるNTTのショールームも同時に見学
■中部電力光ビジネス実証試験 公開展示見学(業3プラザシーズ)
光ファイバー引き込み線(OPDV)実験について
エアコン、照明遠隔制御、Bluetooth 接続のインターネット冷蔵庫などの見学



■世界四大文明 インドス文明展(名古屋博物館)

「IT講習」 始まる

IT革命の二十一世紀を迎え、五年以内に世界最先端のIT国家に」との目標を掲げて、昨春秋、政府はIT基本戦略を決定し、この一月にはIT基本法も施行され、国を挙げて「高度情報通信ネットワーク社会」づくりが進められようとしている。

その一環として、「全ての国民がインターネットが使えるようになるための基礎技能の習得」をとの「IT講習」事業がスタートした。

この事業は、国から県、地方自治体を挙げて実施される事業で、当校はこの飯田市の事業や町村で計画される事業の委託を受け、または協力依頼に依って、積極的に取り組んでいくこととしている。

既に飯田市のIT講習事業の一部を受託し、去る二月から、「IT指導者認定講習会」を実施しているし、四月からはほぼ連日の計画で「一般講習」も行

得られることとなっている。飯田市から計画が発表されるとたちまちの内に定員一杯になる盛況で、一般住民の関心の高さが現れており、事業の主旨である「全国民の講習」の成果が期待される。



飯田インターネット 共同研究会コーナー

飯田ネット (iidanet) の特徴

● ツナガル
アクセスポイントの数よりも何時でも確実に繋がるポイントを確保します。更に上位回線へのアクセスもより広帯域の回線に対応します。

● スズンデル
ネットインフラとサーバを提供し、ネットワークアプリケーションの開発を手がけるASP事業を積極的に展開しています。

飯田下伊那の行政、教育機関、地元企業等に多数利用されていて、セキュリティ対策やコンテンツフィルターの備え等万全です。

パーソナルプラン：月額2,000円
(メールアドレス最大5コ)
グループプラン：月額3,500円
(メールアドレス最大11コ)
—基本サービス—
マイホームページ容量 25MB
メール容量 5MB
電子メールアドレス 1コ
メール転送 1箇所
WWWブラウジング
FTPサーバ
CGI (アクセスカウンタ)
問い合わせ先：飯田ネットカスタマーセンター
(飯田コンピュータ専門学校内)



同窓生の皆さんへ — お知らせ —

*住所(現住所、帰省先等)や氏名の変更及び、勤め先の変更等は随時下記の同窓会事務局までお知らせ下さい。
事務局では常に、同窓生の皆さんの最新の情報を的確に管理していくよう心がけております。また、プライバシーに係るデータの取り扱いには慎重を期しておりますので、ご安心下さい。

*この「UP-LE」に是非、近況等の投稿をお願いします。E-mailやFAXでお寄せいただいても結構です。このコーナーを情報交換の場として有効にご活用下さい。

学校法人コア学園 〒395-0823 長野県飯田市松尾明7591
飯田コンピュータ専門学校 同窓会事務局 TEL(0265)22-5111 FAX(0265)22-5100
E-mail:ica@iidanet.or.jp

新年度(平成13年度)入学生募集 最終選考：3月24日(土)

・・募集要項・・

設置学科：情報・マルチメディア学科

募集定員：80名

修業年数：2ヶ年

出願資格：高等学校卒業(見込み)又は同等の学力を有する者

選考方法：書類、教養試験、適性試験、面接

■特待生制度(入学金の全部～一部が免除)

I類：入学金全額免除150,000円

II類：同 一部免除100,000円

III類：同 同じ50,000円

■奨学金制度(日本育英会その他)

■ノートパソコン貸与(在学2年間、実習用ノートPCを無償で貸与。自宅での活用も可)

各種講座のご案内(2001年度)

■飯田市IT講習

4/2～(毎週月～木曜日「午後の部」、同「夜間の部」、土・日曜コース等多数計画あり)

■シルバーパソコン講座

4/13～(毎週金曜日夜間の部)

■サンヒルズ講座

4/6～(3ヶ月毎に次の4コースを開講)

・パソコン(Word/Excel)講座：毎週月・木昼間、毎週火・金昼間、同夜間の3コース

・パソコン(Wrod)ワープロ検定用講座：毎週月・木昼間

■雇用・能力開発機構委託訓練講座

・IT基礎技術科：4/24～6/22

・IT基礎技術科：9/4～10/31

・コンピュータビジネス科：12/14～3/15

■リカレントカレッジ(夜間部)

*現在計画策定中、詳細計画の発表は5月ころの予定。

伝言板

2001年度「前期」スケジュール		6/10(日)	日商簿記検定
		6/17(日)	J検
4/6(金)	入学式	6/24(日)	秘書検定
4/9(月)	オリエンテーション	7/1(日)	CG検定
4/10(火)	始業式・授業開始	7/1(日)	マルチメディア検定(2・3級)
4/16(月)	健康診断	7/1(日)	B検
4/27(金)	新入生歓迎会	7/14(日)	日商ワープロ検定(3・4級)
5/	協賛会総会	7/20(金)	～8/26(日)夏休み

編集後記

「お忙しいところを誠に」と、平身低頭、恐縮の態度をにじませて、K印刷会社の制作スタッフを幾度泣かせてしまったことか。今度こそゆとりを持って、心掛けた筈が。生来の怠け者、尻に火が付かないと動かない性格をまたも露呈してしまいました。お届けする今回のUP-LE、インク乾きたてにつき「注意」をお手の汚れを気にしながら一読いただければ、と最後に「お読みいただきたく上での注意事項」が出てきたところで、意味もありませんね。失礼しました。